



実りの秋，学びの秋を迎えるにあたって・・・

SNS を正しく使うためには・・・



GIGA スクール構想の実現に向け，四日市市は ICT 設備の充実を急ピッチで行っています。先日，橋北中でも zoom を使って各家庭と学校をつなぐ試みを行いました。ICT 機器は，私たちの生活の中にしっかりと溶け込んでおり，教育分野への活用は待たなしのところに来ています。

一方で，安易な SNS への書き込みによるトラブル，見知らぬ人とつながったために起こる犯罪など，中学生にとって使い方を間違えると大きな問題につながるということがいっぱいあります。

インターネットに関する大きな間違い

1. 本名を使わなければ，ばれない・・・間違い

ネットの世界には PC の操作に非常に詳しい人がいて，簡単に身バレ（住所や名前，学校名などが特定される）します。誰が誰に何を送信したのかの軌跡が残っているので，専門家や詳しい人は簡単にトレース（追跡）できます。

2. 見ることができる人は決まっているから大丈夫・・・間違い

世の中には，普通では考えられない行為（店屋さんの商品にイタズラする動画をアップする。友達の許可なくふざけた写真をアップする。自分の裸の写真を他人に送るなど）を行う人がたくさんいます。その結果，高額な賠償金が発生したり，見ず知らずの人に知れ渡って脅されたり，友達や家族に迷惑をかけたりする・・・こんな事件がいっぱい発生しています。この人たちもパスワードをかけていたでしょうし，アクセスできる人を限定していたはずです。だけど，広まったのです。

ネット上に情報（言葉や写真や動画）をあげるということは，究極的には世界中にその情報を発信しているということです。

3. 時間限定で，すぐに消すから大丈夫・・・間違い

ネットトラブルの怖いところは，広まるときは一挙に広まること。そして，すべてを回収することは大変難しいこと。そして，その情報は，いつまでたってもネットの世界に残ることです。

中学生のあなたの恥ずかしい写真は，20 歳になっても 50 歳になっても，ネットの世界のどこかに残り続けるのです。

ツイッター，インスタグラム，TikTok など，中学生でも簡単にネット上に情報を発信できる世の

中です。（小学生のなりたい職業の上位にユーチューバーがあがる時代です。）で、あるからこそ、不用意にネット上に情報をアップすることは危険です。難しいことは躊躇^{ちゅうちよ}しますが、簡単なことは安易にやってしまいます。一人一人が気を付けることと、面白半分で使用しないようにしましょう。

2 学期のいろいろな出来事紹介



全校避難訓練



2 年「志」授業



2 年飾り巻き寿司実演



3 年平和学習の発表会



1 年福祉学習



全校タブレット PC 学習

橋北子ども園の「主体的・対話的で深い学び」

橋北子ども園の HP で見つけた「お絵かきの時間」のエピソード。以前に発見した（つまり、体験の中から学んだ）ことが次の活動に生かされている姿。困っている子に助言する姿。自分で試しながら正解を見つける姿・・・など、園児たちの素敵な学びの様子が書かれていました。

橋北子ども園の保育の充実した様子に感心しました。

ブドウの色、みつけた！

2020.9.7



5歳児は、大好きなブドウを、絵の具で色を作りながら、描いていました。巨峰の好きな子が、どうやって色を作るか考えていると、友だちが「青と赤を混ぜるとできるよ。色水してた時、赤と青でぶどうジュースできたもん」と、教えてくれました。今までの遊びの中で発見したことが生かされています。赤や青の絵の具の量によって、いろいろな紫ができ、楽しそうに混ぜています。「できたー」と満足そうでした。一方、

マスカットが好きな子は、じっとマスカットとにらめっこです。赤、青、黄色をどのように組み合わせるといいかな？しばらくして、青と黄色を混ぜると、黄緑色ができ、大喜び。おいしいマスカット色ができましたよ。絵の具を混ぜると、いろいろな色が作れて、自分の感じた色を作り出す楽しさを味わうことができました。